

2021年度 魚住まちづくり協議会 事業計画 (案)



■ビジョン/スローガン

(2015~2024年 10年を目処のまちづくり計画書から)

ビジョン：人と人が交流し、人と自然が共生する いつまでも安心して住み続けたいまち

スローガン：自分の意志で、自分のできる形で、気軽に楽しく参加し、次世代に引き継げる新しい魚住を！

■2021年度は見直しの1年

次の3ヶ年（2022~2024年度）中期計画づくりに向けて

重点ポイント)

- みんなで、まちづくりアンケート実施→まとめ、分析→新たなまちづくりを
- 新たな繋がり、活動の充実、拡がり、次世代に引き継げる体制づくりを目指す
- 災害への備えを住民・自治会・まちづくり協議会で協力しながら進める

■全体事業計画

3大行事)

- 9/18 (土) 敬老会
- 10/2 (土)、予備3 (日) うおずみ祭り
- 2022/1/15 (土)、予備16 (日) 左義長

各事業

- まちづくりアンケート実施
企画運営チームを広く地域から募集、そこで実施内容、回収検証方法を決めて実施する。その内容を参考に、新たな事業計画や組織改革などに生かす。
- 事業体制の見直し
- まちづくり協議会内の部会や他活動グループとの交流強化
- 地区他団体との交流会の実施 情報共有、連携強化のため
- 魚住幼稚園、魚住小学校との連携強化 まちづくりや防災関連で

コミセン施設管理業務)

欠員1名を補充 管理物件増(学校、プレハブ会議室)にも対応した円滑な運営

新しい広報の継続強化

HP、LINE、広報紙「まち協だより」など

校区防災事業)

特に重要な自助・共助を各家庭、自治会、まちづくり協議会本部がそれぞれの役割を理解し連携しながらより実践的な講座、訓練を行う

- ・避難所開設運営訓練 地域全体で1回、カード検証の訓練を数回実施予定
- ・要支援者対策も含め各自治会の防災力アップに向けサポート
- ・地区防災計画を市へ提出・・・明石市防災会議で判断
- ・避難所運営用備品の更なる充実

各部会計画)

健康・福祉部会

- ・健康寿命を延ばす活動及びフレイル予防活動
きずなサロン、元気アップ体操の継続と充実
市の出前健診の実施
- ・地域内他団体等との交流・連携
うおずみ総合支援センター、まちなかゾーン会議、福祉施設等との交流連携
まちづくり協議会内の他部会との協働
- ・地域住民のつながりを広める活動
体操拠点のPR、体操拠点設置啓発活動の継続
あいさつ、声かけ運動の推進（まち協全体活動と連動して）

安全部会

- ・あいさつ運動の実施（継続）
重点：中、高校生、地域の人々と 各高校とあいさつ週間、月間（共同で）
- ・みんなで見守る活動
○登下校、学校園での見守り（継続） ○曜日、時間帯、場所などデータによる見守り
○校区内通学路、生活道路、交通標識、危険箇所・バリアフリーの点検を学校・PTAと共同で実施
○見守り交流会 ○行政、地域諸団体との連携協働 ○青パト防犯活動
○通常活動でのウォッチング（危険箇所など）
- ・情報の共有、対策の検討実施
○安全部会の開催 月1回 ○子ども見守り交流会への参加
○魚住町防犯情報連絡会、安全研修会への参加
- ・取り組み体制と留意点 ○みんなが参加しやすく、活動しやすいこと

自然環境・歴史部会

- ・地域の貴重な里山自然「金ヶ崎公園」の保全と活用
11月、親子自然体験 in 金ヶ崎公園
エコウイングあかし主催の自然観察、里山整備に継続参加
- ・地域の歴史文化を掘り起こし、史跡のアピール
看板新設（6月金ヶ崎神社、1月鴨谷掘割緑地）
7月、9月設置済看板（5カ所）の管理〈草刈、清掃〉
近隣地域の史跡探訪 6月 設置済の看板を巡る（4カ所）
- ・環境に配慮し、マイボトル持参活動を推進
- ・ゴミ減量推進委員としての活動

ふるさと・未来（子どもを育む）

- 子ども見守り交流会の継続実施
- みんな de 菜園 参加者主体での本格的な菜園活動
- みんな de ごはん
- みんな de お勉強 毎週水曜日 14：30～16：30
時間割に合せ 2 段階対応
- 魚小 2 年町たんけん、魚小 3 年環境体験学習、
魚小 5 年防災授業、魚小 6 年まちづくり授業
- 11/9～11/13 トライやる・ウィーク 魚住東中 6 名受け入れ

その他事業

- 喫茶くすのき
- 映画観賞会
- コープ買いもん行こカー 2021 年 4 月スタート

ビジョン:人と人が交流し、人と自然が共生する いつまでも安心して住み続けたいまち

